広報くろいし 6
昭和六三年六月一日発行（毎月一日発行）
三八号　発行／黒埼町役場　〒950-21　新潟県西蒲原郡黒埼町大野三八番一
電話／025-382-3111　編集／企画開発課（担当：広報統計係）　印刷／㈱旭光社
経費一部五円

人 38 六月にペン画展を開きます

植村東平（うえむらとうへい）さん
四十歳　蓮方団地　会社員

おめでとう、植村さん。六月に個展を開くそうですね。広報の取材でお会いするのは六年ぶりでした。「この前きてもらったときと同じような作品しかないんですよ。忙しくて描いてる時間がなくて」。ペン画に必要なものは三つ、ペンと紙と時間と言ってましたね。一枚仕上げるには一日二時間ずつ描いて二か月はかかる植村さんの作品はほんとうにたいへんだと思います。

そんなに時間を費やした作品を友人や知人に差し上げて「飾る絵がない」なんてあわてて捜している植村さん、らしいなと思いました。高校のころから始めて四、五百枚も描いたのに手元に残っているのは二十点もないなんて、もったいなさ過ぎやしませんか。

船が好きと言う植村さん。以前、アメリカの軍艦が新潟港にきたとき、出港する姿が見たくて一日中港で「見張っていた」なんて実にうれしいエピソードです。船の写真を撮り、船の本を読み、船のキットを作る。「船しか描けない」と笑っていましたね。

遠くから見るとまるで写真のようで、近くから見ると点描のような植村さんのペン画。「我流ですから」とうつむいて「でも波のタッチは僕の独自の手法なんですよ」と付け加えましたね。インクはブラックインクにポスターカラーと墨を混ぜ合わせ、ペンは丸ペン一本で、何百枚の習作の上にいまの植村流ペン画ができたのでしょう。

写真上／戦艦三笠。ペン画の題材はほとんど船。中でも軍艦が多い。「ペン画は船がいちばん合っているし、中でも軍艦は造型的に最も美しい」という。「船体よりも波をどう描くかが難しい」とも。
写真右／植村さん。もう二十年以上時間をみつけてはペンを執ってきた。「だれにでも描ける」ので興味のある人は連絡を☎377-5729。
写真左／ペンとインクと船の写真集。ペン画の下絵は写真。

だから「自信がないなあ」なんて言わないで、いえ人に言っても自分では思い込まないでほしいのです。小学校の文化祭で「子供に頼まれてしかたなく飾った」ペン画に黒山の人が集まったというではないですか。

「少し描いては満足し少し描いては満足し、この繰り返しが長続きのコツ」と言いました。壁に飾ってあった絵は昨年描いたたった一枚だそうですが、「船が最近わかってきた」ことを証明していたように見えました。飽きるほど繰り返すことが唯一の「より完全化」の方法なのかもしれませんね。

それにしても六年前と同じようにペン画に感動しました。植村さんの一ファンとしてカメラを持たずに個展の会場に伺います。

（五十嵐広報担当記）

ほんの一冊

星の王子さま
（岩波書店）

サン＝テグジュペリ
（内藤　濯訳）

ご在じ、星の王子さまです。メルヘン、あるいは少女趣味の代表のように思われていますが、甘ったるい感傷的なものではなく、時にはユーモラスにおとなを笑いながら、目に見えないところに隠れている本当に大切なものを、わたしたちに教えてくれます。

作者はフランスの飛行士で、第二次大戦で帰らぬ人となりましたが、社会的に功なり名を遂げた人物です。彼の筆になるこの物語は、優しさに満ち、人を愛することの尊さと哀しさを、星の王子さまとの出会いを通して、強く語りかけてきます。　（紹介者：中山佳奈恵）

植村東平ペン画展

北部地区公民館

6月
18日(木)～
21日(日)

地域社会におけるわたしたちの生活と直接に結びついたことがらは、住民が自らの意思で判断し、決定することが望ましい。一定の地域の住民がその地域の政治を自ら行うことを地方自治という。地域住民の意思を地方の政治に反映させることは民主主義の原則であり、ひいてはそれが国の政治を民主的に運営させるための基盤ともなる。その意味で「地方自治は民主主義の学校」とさえいわれている。

地方政治を運営する単位が地方公共団体で、地域住民の生活により直接的に結びつく政治は市町村で行われる。地方公共団体の意思を決定する最高機関は地方議会である。議会が決めた予算や条例に基づいて政治を行う機関が執行機関で市町村長はその首長である。議会と首長は互いに独立した立場にある。

地方自治は、住民が自分たちの意思と責任に基づいて地方の政治に参加するという、住民自治を基本にしている。このため、地域の住民が首長や議員を直接選ぶ。選挙権は二十歳以上で引き続き三か月以上その地方公共団体の区域内に住んでいるものに与えられている。

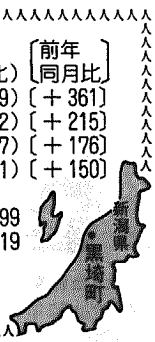
近年の地方選挙をみると、情実に結びついた選挙が行われたり、住民の選挙に対する関心がうすれて投票率が低下したりするなどの問題点も少なくない。今後、地方自治を発展させていくためには、わたしたちの生活と直接に結びつく地方選挙の意義を正しく理解して、選挙権を行使していくことが大切である。

以上はいま黒埼中学校の生徒が勉強している社会科の教科書に書かれている。わたしたちも学んだはずである。

編集室

〈人の動き〉

4月末日現在（前月比）		〔前年同月比〕
人口	22,566（−19）	〔＋361〕
男	11,094（−12）	〔＋215〕
女	11,472（−7）	〔＋176〕
世帯	5,918（＋11）	〔＋150〕

4月1日～末日

出生	13	転入	99
婚姻	19	転出	119
死亡	12